

2020年度

授業概要

科目名	作業療法総合演習Ⅳ			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必須	配当学年 時期 2年 後期
【授業の目的・ねらい】 作業療法として必要な高次脳機能障害の知識を学び、観察や検査を用いて評価できる技術を身につける							
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院に勤務、身体障害領域の幅広いリハビリテーションに従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 高次脳機能障害の評価に必要な観察や面接、検査を実技を通して学ぶ							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 高次脳機能障害の知識を深め、評価するための技術を身につけ、高次脳機能障害への評価・介入に役立てることができる							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	オリエンテーション、面接・観察						
2	注意機能障害						
3	注意機能障害						
4	半側空間無視						
5	半側空間無視						
6	認知の障害（失認、構成障害、着衣障害）						
7	認知の障害（失認、構成障害、着衣障害）						
8	言語障害						
9	記憶障害						
10	記憶障害						
11	行為・行動障害						
12	行為・行動障害						
13	遂行機能障害						
14	遂行機能障害						
15	感情障害、社会的行動障害						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学 高次脳機能作業療法学 第2版 能登真一							
【準備学習・時間外学習】 検査の目的や意義を理解し、それぞれの検査が行えるよう復習しておく							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価を50点、定期筆記試験を50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							